

マイマイガに注意しましょう！

～正しく・安全に駆除・除去にご協力ください～

今年度、山梨市内において「マイマイガ」が大発生しています。

マイマイガの生態を理解し、正しく・安全に駆除・除去することで翌年以降の大発生を抑制しましょう。

◆マイマイガについて

「マイマイガ」はドクガ科に属する大型の「ガ」です。

幼虫は4月ごろにふ化すると、さなぎになる7月ごろまでの間、広葉樹やアカマツなどの山林の木々のほか、果樹や街路樹、家庭の庭木等の葉を食べ、食害を与えます。

成虫は7月から8月にかけて街灯などの照明に夜間大量に飛来し、秋の産卵期には、建物の外壁や照明近くの電柱や樹木に300～600個の卵を塊で産み付けます。成虫の寿命は1週間から10日間程度です。

およそ10年の周期で大発生し、終息まで2～3年間かかるといわれていることから、大発生した後の数年は特に注意が必要です。



写真1 メスの成虫

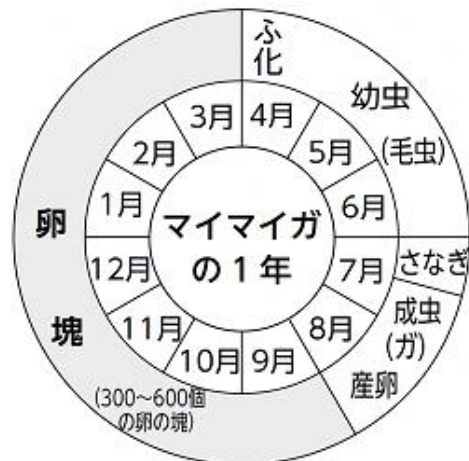


表1 マイマイガの一年

◆健康上の注意点

マイマイガに直接触れないように注意しましょう！

- ▶ふ化したばかりの幼虫には毒毛があります。触れるとかぶれることがあります。
- ▶成長した幼虫では、毛が刺さることがあります。
- ▶成虫の羽にあるりん粉が肌につくと、人によっては発疹が出る場合があります。

◆ 駆除・除去の方法

▶卵塊の場合（8月～3月ごろ）

外壁などに産み付けられた卵塊は、柔らかいヘラなどでそぎ落とし、土に深く埋めるか、小袋に入れてしっかり縛ったうえで、市指定の燃えるごみの袋に入れて燃えるごみの日に出してください。

そぎ落とす際は、ペットボトルを真ん中で切断したものを使うと便利です。



写真2 マイマイガの卵塊



写真3 卵塊除去の例

▶幼虫の場合（4月～6月ごろ）

幼虫が小さいうちの駆除は、ホームセンターなどで販売されている毛虫用の殺虫剤を使用します。

スプレー剤の場合、噴射により幼虫が吹き飛ばされ、体に付着する場合がありますのでご注意ください。

農薬を散布する場合は、使用できる植物や散布方法などを販売店や専門の方に相談し、周囲に影響のないようにしてください。

幼虫が大きくなると殺虫剤が効かなくなります。大きくなった幼虫は、潰すか火箸や火ばさみなどで捕まえ、少量の家庭用洗剤を溶かした水に漬けて駆除すると効果的です。



写真4 マイマイガの幼虫

▶成虫の場合（7月～8月ごろ）

外壁などにとまっている成虫には、ガの駆除に適した家庭用の殺虫剤が使用できます。説明書に従い、周辺に十分配慮して使用してください。

また、飛来頻度を抑制するため、発生時期に合わせて消灯したり、誘虫性の低い照明（LED、ナトリウム灯など）への交換が有効です（消灯する際は防犯面にも十分配慮してください）。

◆ 駆除・除去にあたっての注意点

- ▶駆除を行う際は、マスク、ゴーグル、手袋、長袖の衣類を着用しましょう。
- ▶高所の卵塊を除去する場合は、作業中の転落に十分注意し、無理のない範囲で安全に作業しましょう。
- ▶電柱や街灯などの高所の除去作業は大変危険ですので、絶対に行わないでください。

※ご自宅の庭など個人の土地に発生した場合は、ご自身の責任で適正な処理をお願いします。

公共施設の敷地で大量の卵塊を見つけた場合は、各施設の管理者までご連絡ください。

画像提供：山梨県峡東農務事務所（写真1、写真2）

画像・表引用：長野市（表1、写真3）

「マイマイガの生態と防除について」

(<https://www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/kankyo/91838.html>)

(地独) 北海道立総合研究機構林業試験場・北海道水産林務部（写真4）

「最近大発生しているマイマイガの生態・被害・防除」

(<http://www.fri.hro.or.jp/kanko/fukyu/pdf/maimaiga.pdf>)